

〔国際会議開催〕

申請者	東京大学 生産技術研究所 教授 金 範 峻	2225005
国際会議名称	IEEE CPMT Symposium Japan (ICSJ) 2022	
開催期間	2022 年 11 月 9 日～11 月 11 日	
開催場所	京都大学百年時計台記念館（京都府京都市）	
申請者の役割	IEEE ICSJ2022 学会長（General Chair）	

概 要：

国際会議 IEEE CPMT Symposium Japan (ICSJ) は、IEEE EPS (Electronics Packaging Society) 主催により我が国で開催する唯一の半導体デバイス、電子部品の実装に関する国際会議である。ICSJ の最大の特徴は、産業動向に合わせた技術トピックを主題に取り上げ Field を拡充してきた点にある、電気・電子分野に加え、光学、機械、物理、素材・化学、医用の研究者ならびに技術者が集い、広い視点から新技術創出・実用化へ向けた議論ができることが本学会の学術的意義である。特に近年では、バイオ・ヘルスケアセッションにてフレキシブル材料を活用したウェアラブルデバイスの将来技術について、さらにはオートモーティブセッションにて自動運転化に向けた AI 実装・高速高信頼通信技術について議論が盛んになっており、人間と機械をより密接に協調させることで新しい価値を生み出す新技術の取り組みに焦点を当てている。また、今年度のトピックは DX (Digital Transformation) とエレクトロニクスの融合であり、人間と機械とを安全・安心に協調動作させるための 5G や AI を中心とする高度デジタル化技術を支える電子実装技術について議論することとしていた。

本会議の目的は、分野横断で電子部品、光学部品の実装技術に関する議論を深め、これまで世界を牽引してきた我が国の部品・素材・実装技術を更に強める産学の強い絆をつくる事ができた。また、口頭発表後に Authors' Interview という研究者間交流の場を別途提供しており、発表者間や聴講者との技術交流をより深化させることにより、幅広い人脈形成が期待される。若手研究者育成の観点から、2016 年より Early Career Researcher (ECR) セッションを設け、優秀な発表をした学生と若手研究者を別途表彰する制度を取り入れている。過去 5 回の ECR セッションでは、回を重ねるごとに海外からの参加者が増えてきており、学生時代から国際的な人材交流を深める機会を提供できている。この様に、次世代の電子部品実装技術に貢献する人材を育成する効果が期待される。